

議 長
確認印

総務常任委員会会議録

1 日 時	開会 令和4年12月8日 15:10 閉会 令和4年12月8日 15:35
2 場 所	委員会室
3 出席委員	下重義人、吉村守広、藤田一男、吉田克則、青砥與藏、菊地哲也、鈴木孝則
4 欠席委員	なし
5 出席要求者	なし
6 職務出席者	事務局長
7 付議事件	第1 閉会中の継続調査について 第2 その他
8 議事の経過	<p>吉村副委員長開会 下重委員長あいさつ 第1 閉会中の継続調査について 委員長：各委員から意見あるか。 藤田委員：委員長の案はあるか。 委員長：考えはある。 藤田委員：小規模特認校制度についてはどうか。笹原小学校を残す手立てとしても。 吉田委員：町税の公平性の観点から、収納状況と不納欠損の内容を調査してはどうか。 藤田委員：監査報告を見れば分かるのではないか。 吉田委員：努力の経過も含めて調査したい。 青砥委員：埴工高が閉校になった後の対策については。 委員長：埴工高は県所管なので、本委員長の調査に該当しないのではないか。 藤田委員：要望書の提出はできると思うが。 青砥委員：町がどのように考えているかということである。 鈴木委員：小学校のタブレットの使用状況や先生方がどのように考えているのか。藤田委員提案のものと併せて行うのもどうか。今回でなくても。委員長の考えは。 委員長：滞納対策についてはどうかと思っている。案がいくつか出ているが、委員の意見は。 鈴木委員：前回教育委員会を調査したので、今回は別がよいのでは。 吉田委員：小規模特認校について、教育委員会では現在事務を取り扱っていない。重要な事項については、全協での聞き取り・全議員での取り組みがよいではないか。 委員長：小規模特認校ははじめて聞いたことであり、後で調べておき、次回以降の調査としたい。今回は町税のことについての調査としたい。総務課・町民課の対応。 青砥委員：委員長の判断でよい。 委員長：今回は、町税の収納状況・滞納対策等としたいがよろしいか。 (異議なしの声あり) 委員長：日程は、1月15日～20日頃としたい。その他あるか。</p>

吉田委員：総務で協議した内容・意見について、議長に話ししておいてほしい。

鈴木委員：小学校を一つにするのか二つにするのかの議論が必要。磐梯町は、小学校が二つある。一つだと中学校まで序列ができてしまうため、二つにしている。町が方針を出す必要がある。全協で町の考えを聞くのもよい。

委員長：その他なければこれで終了する。

副委員長による閉会

埴町議会委員会条例第 27 条の規定により署名する。

令和 年 月 日

総務常任委員長